

『保育学研究』第 65 巻からの電子化及び変更点に関するお知らせ

一般社団法人 日本保育学会会長 戸田雅美
編集常任委員会 委員長 砂上史子

平素より一般社団法人 日本保育学会の活動に関しまして多大なる御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

『保育学研究』第 65 巻から下記の通り変更がございますので、お知らせいたします。

記

1. 冊子の電子化（紙冊子の廃止）

2025 年度事業計画に基づき学会誌のオンライン化について検討を重ね、第 65 巻から電子化を実施することといたします。

2. 投稿規程の新設

応募要項・執筆要項・論文執筆のための手引書が、投稿規程に一本化されます。

論文投稿時の変更点は、以下をご確認ください。

https://jsrecce.jp/wordpress/wp-ontent/uploads/2025/12/henkouten_65_202512.pdf

3. ページ数・文字数の上限の増加

投稿可能ページ数および文字数の上限が 1 頁・約 4400 字増加します。

第 64 巻まで（現行）：本文 10 頁以内（上限 16,800 字）

第 65 巻から（新）：本文 11 頁以内（上限 21,252 字）

4. オープンアクセス誌化

第 64 巻まで（現行）：J-STAGE 等^{※1}にて論文を公開（フリーアクセス状態）

第 65 巻から（新）：J-STAGE にて、CC ライセンス（CC-BY-SA^{※2}）を付与した論文を公開（オープンアクセス^{※3}）

※1：2003 年以前の論文は、国立国会図書館デジタルコレクションにて公開

※2：転載の際、執筆者名・タイトル等を表示し、改変した場合には、同じ CC ライセンスで公開すれば、営利目的での二次利用も許可する

※3：オープンアクセスに関する詳細は、以下をご確認ください。

https://jsrecce.jp/?page_id=7747

5. 抜刷の有料化

第 64 巻まで（現行）：掲載された論文の抜刷を 30 部送付。それ以上必要な場合は、実費負担。

第 65 巻から（新）：掲載された論文の抜刷が必要な場合は、実費負担。